



【飛翔上がれ！高く！3期生の前途に幸多かれ！～
第3回卒業証書授与式～】

3月15日（水）、第3回になる卒業証書授与式を挙行。6年間の学校生活を修了し、3期生が本校を巣立っていった。

1年生のオリエンテーション合宿から始まり、これまで数々の教育プログラムを体験し成功・失敗も多く重ねてきたことであろう。児童から生徒へ、そして子どもから大人へと成長をしてきた6年間は、他校では味わえない、特別な経験をしたに違いない。1期生、2期生の背中を見ながら先輩方の後を追っていた3期生が、いつの間にか後輩から背中を見られるようになり、「先輩！先輩！」と後を追われる立場になったとき、「自立」という言葉がいやおうなしにのしかかってきたことであろう。責任と重圧、歴史を受け継ぎ築き上げていく難しさ、一人ではできないことを実感し、仲間の大切さも十分に感じたことであろう。また、人とどのように関係性を築いていくのかといった難しさも知ったはずだ。そうしたことを全て飲み込み、晴れ晴れとした顔つきで本校を巣立っていく3期生の前途が幸多きものとなるようエールを送りたい。「飛翔上がれ！高く！」3期生、卒業おめでとう！



【歩行大会をとおして自分や仲間の心と体を知ろう！～第8回歩行大会開催～】

3月17日（金）、大原高校時代から行っている歩行大会を開催。中等教育学校としては8回目であるが、大原高校から通算すると何と34回を数える。大原高校時代は、高校生による大会でもあり、歩く距離も27キロとなっていたが、中等第1期生は21キロで計画されていたようである。年度を重ねるごとに、コース等の見直しが行われ、現在は1・2年生が丸山城址公園コースの約23キロ、3・4年生が自然環境保全センター・七沢・玉川球場コースで約31キロ、そして5年生が大山阿夫利神社コースで約31キロとなっている。

さて、こうした歩行やウォーキングだが、人が意識的に歩行運動を始めた理由として、主に、文明の進歩により運動量が減少、それによって成人病などの健康不安が広がってきたことがあげられている。また、その他に自然環境に触れながら人間本来の感性や情緒の育成、集団で行うことによる協調性や達成する喜びを味わえることなども理由の一つで、日本をはじめ世界各地で「〇〇大会」「△△ウォーキングイベント」等として開催されている。本校でも、こうした歩行やウォーキングの効果を生徒一人ひとりに味わわせたいという思いからスタートした行事であり、改めてそのねらいや目的を再確認しながら今後も継続をしていきたい。

